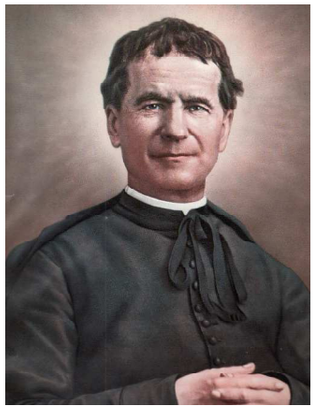
南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
平成２６年７月号

ドン・ボスコの予防教育法



１９世紀のイタリアに「青少年の父・カトリック教育の師」と呼ばれているドン・ボスコという一人の司祭がいました。ドン・ボスコは，当時，産業革命の名のもとに安価な労働力として搾取されていた子どもたちを救うために青少年教育に身を捧げた司祭として，とても有名な聖人です。

その時代のヨーロッパの教育の主流は，上から規則を押しつけて子どもたちに従わせる「禁圧的教育法」というものでした。これは，あらかじめ制定された懲罰のリストに従って，違反に対して罰を加えることにより秩序を確立しようとするもので，「おとなしくし，規則を守りなさい。さもなければ・・・」というやり方の教育法でした。安い賃金で長時間働かされた後，この「禁圧的教育法」にはじき飛ばされた将来のある多くの青少年たちが，大都会のまん中で，希望を失い，病に倒れ，悪事に走る姿を目の当たりにした若いドン・ボスコは，この若者たちを救うことに一生を捧げようと決心します。

ドン・ボスコが始めた「オラトリオ」という新しい教育事業のもとには１年目にして数百名の若者たちが集まってきたといわれています。

ドン・ボスコは，罰の恐ろしさのために規律と秩序を力ずくで守らせるのではなく，子どもたち自らが積極的に善を選びとることができるようにするために，正しいものを選びとる力，自ら考える力を養うことが子どもたちにとって重要であると考えました。

「禁圧的教育法」に対して，ドン・ボスコの教育は，「予防教育法」と呼ばれています。「問題が起きてしまってから罰したところで，なんの役に立つだろう。神さまにもう背いたあとではないか！」と当時の教育を嘆いたドン・ボスコは，「教育者はあらゆる手段をつくし，あらゆる心づかいをくばり，絶えず見守りながら子どもたちが悪を行わないように防止することが大事だ。そのためには，いつも子どもの上に目を注ぎ，注意深い配慮で包んでやりながら，罪を犯す機会を与えないようにしてやらなければならない。」と考えたのです。

南山小学校は，ドン・ボスコの教えを受け継いでいる扶助者聖母会のシスター方に３０年近くも教育事業を担当していただいたという歴史があります。それで，今でも，「悪い行いへの機会を取り除くために，教育者は，常に子どもたちのなかにいて，慈愛深く子どもたちを見守ること」の教えを大事にし，授業中ばかりでなく，遊びの時間も掃除の時間も，いつでも子どもたちといっしょに活動するように心がけて日々の教育にあたっています。

まもなく子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。学期中に比べて自由な時間が多い夏休みには，親の目の届かない時間帯も増えてくることでしょう。長い夏休みの間に，子どもたちが悪い習慣を身に付け，悪い遊びを覚え，悪に向かっていくことがないように，事前にその機会を取り除いてやらなければと考えます。

「南山っ子の約束」の小冊子に今一度目を通されてみてください。特に，【放課後や校外での生活】の蘭には，夏休みの生活に関係の深い項目がありますので，夏休みを迎える前に確認しておいてもらいたいと思います。

【放課後や校外での生活】からの抜粋

- 子ども同士で，娯楽施設（ゲームセンター・ボウリン場・カラオケ等）や大型店舗に入ってはいけません。ゲームセンターやゲームコーナーは，保護者同伴でも出入り禁止です。子ども同士で，お金やゲームソフト，カードの貸し借りをしてはいけません。
- 用もないのに，子どもだけでストアーやデパートに行ってはいけません。
- 知らない人にさそわれても，ついていってはいけません。危険を感じた場合には，近くの大人の人や交番，こども１１０番の家などに助けを求めましょう。
- 外出するときには，行き先・帰宅時刻・相手の名前をはっきり家の人に言ってから出かけましょう。
- 危険な場所では遊びません。インターネットをするときは，マナーや約束を守ります。
- 家族の一員として，自分にできる仕事をしましょう。
- テレビを見たりゲームをしたりする時間は，家族で話し合って決めましょう。おこづかいも，おうちの人とそうだんして，計画的に使いましょう。
- 友達の家には，とまってはいけません。

※　「南山っ子の約束」の小冊子は，１年生には２学期の初めに配布します。

※　「南山っ子の約束」には，公立小学校の場合と若干異なる内容もあります。子どもの安全を守るための南山小学校でのきまりということでご理解ください。

夏休みこそ，早寝・早起き・朝ご飯！

無計画のまま夏休みに入ってしまうと，ややもすれば生活のリズムを乱してしまうという恐れがあります。特に，成長期にある子どもたちには，早寝早起きを心がけ，睡眠時間を十分に確保して欲しいと思います。

最近では，日本の子どもの就寝時刻が世界の中でも際立って遅いことが問題視されています。幼児期で８時台に就寝する子どもが最も多いアメリカなどに比べ，日本の半数近い子どもが夜１０時以降に就寝するというデータもあり，夜更かしをする子どもの増加傾向が顕著になっているそうです。このような子どもの遅寝の背景には，２４時間化した世の中のしくみや子どもの生活・家庭内の環境など様々のことが起因していると考えられます。「寝る子は育つ」といわれるように，成長ホルモンは熟睡状態であるノンレム睡眠のときに多量に分泌され，子どもの骨や筋肉を育成し，身長を伸ばすなど大切な役割を担っています。反対に，子どもの睡眠不足は脳や体の発育だけでなく，昼間元気が出なかったり，イライラして怒りやすいなど情緒面での問題もひき起こしてしまいます。子どもの問題行動を予防する意味からも早寝早起きができるようにご配慮ください。

♪ 平和のたね

きょうもまた　あかるいひかり　このほしを　てらしているよ
かみさまの　あいみたいだね　わけへだてなく　そそいでくる
いつのひか　ぼくたちも　そういうふうに　あいせるように
イエスさまが　のこしてくれた　へいわのたね　へいわのたね　あしもとにそっと
イエスさまが　あたえてくれた　へいわのたね　へいわのたね　まきつづけよう